

## 飛驒・世界生活文化センターの見直しに関するFAQ

R8. 6. 1 時点／岐阜県

### <見直しの経緯について>

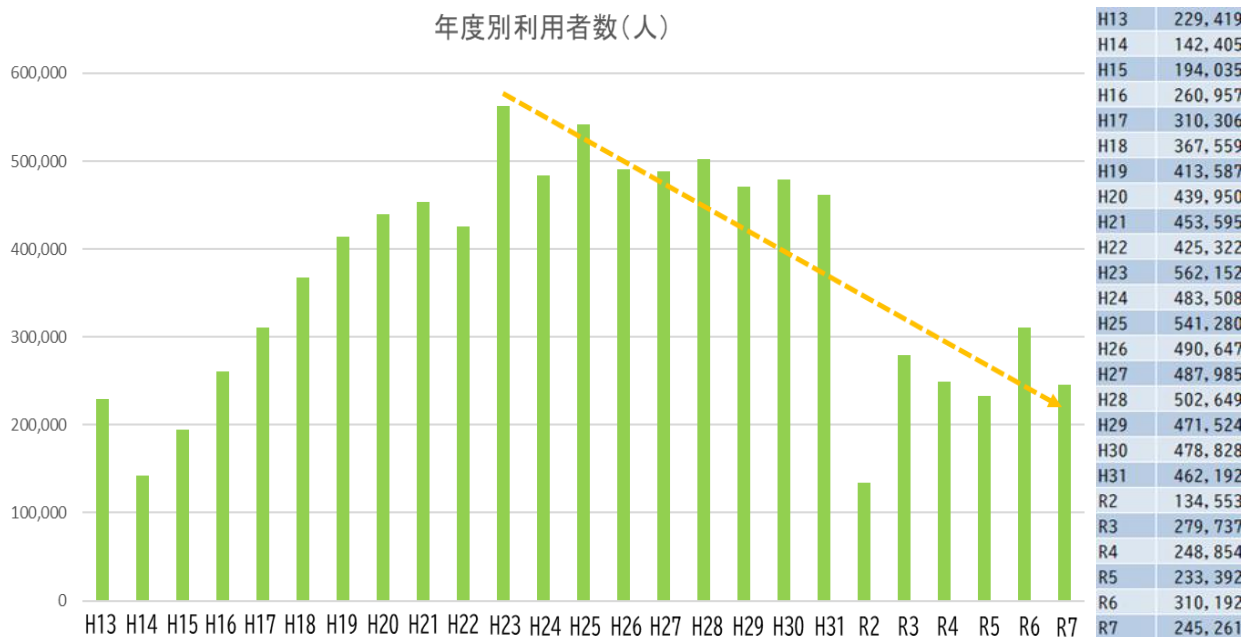
#### Q なぜ飛驒センターの見直しを行うのか

- 飛驒センターは、平成13年の開館以来、飛驒地域の皆様に御利用いただき、ピーク時の平成23年度には、年間約56万人の方に御利用いただきました。しかし、利用者数は右肩下がりであり、これまでも行財政改革議論の中で度々そのあり方が議論されてきました。近年の利用者はピーク時の半分程度となっており、当センターが持つ各種機能（国際会議も開催可能なコンベンション施設として整備等）を十分に活かし切れていないのが現状です。
- また、今後の飛驒センターの運営を展望する中で、施設利用の現状や、近隣の類似施設の状況、毎年の運営管理費や今後予定される相当程度の大規模修繕費などの財政負担等を勘案し、令和7年度末で指定管理期間が満了する機会をとらえ、当センターを引き続き活用する途を探るため、これまでの文化施設の枠にとらわれず、飛驒地域の賑わい創出や課題解決に資する有効な活用策を検討することとしました。

#### Q 飛驒センターの利用者数はどのような状況か

- 飛驒センターの延べ利用者数は、【図表1】のとおりです。  
平成23年度の約56万人をピークに、令和5年度が約23万人（対平成23年度比約42%）、令和6年度が約31万人（同約55%）へと減少しており、近年の利用者はピーク時の半分程度となっています。  
また、直近の令和7年度は約25万人となっており、前年比で約6万人（約21%）減少しています。

【図表 1】 飛驒センターの延べ利用者数の推移



Q 施設利用者数の内訳は

- 令和7年度の施設利用者数は【図表2】のとおり、会議室等の個別施設の利用者数(A)が約7万3千人、屋外のふれあい広場(C)が約3万3千人で、この他に、館内2箇所の人感センサーによるカウンター計測値(B)が約14万人となっています。
- 個別施設の利用者数(A)約7万3千人について、利用団体ごとの利用頻度でみると、概ね月1回以上利用している団体は12団体で約3万人となっております。

【図表 2】 飛驒センター延べ利用者数の内訳（令和7年度）

棟	施設名	利用者数
飛驒コンベンションホール	飛驒コンベンションホール	23,652人
	応接会議室	408人
飛驒芸術堂	飛驒芸術堂	11,182人
食遊館	大会議室	7,728人
	会議室1	2,913人
	会議室2	1,031人
	特別会議室	135人
ミュージアム飛驒	企画展示室1	3,412人
	企画展示室2	4,572人

	企画展示室 3	8,295 人	
	ミュージアム飛騨	8,365 人	
ウエルカムプラザ	ミニシアター	1,178 人	
	小 計	72,871 人	(A)
	カウンター (ウエルカムプラザ・スナックスペース)	139,461 人	(B)
	ふれあい広場 (屋外イベント場)	32,929 人	(C)
	合 計	245,261 人	

### Q 見直し方針について、どのように説明してきたのか

- 令和7年8月以降、地元市村や関係者に見直し方針について説明し、御意見を伺いつつ先ずは地元主導による活用の途を探ってきたところです。しかしながら、有効な活用策を見出すことができなかったことから、広く民間からアイデアを募る「サウンディング型市場調査」を実施しているところです。なお、この調査へは地元から提案することも可能となっております。
- 県としては、令和9年度から新たな運営へ移行することを目指しており、利用者の利便性を考慮して、既に予約が入っている事業が実施できるよう令和8年9月末まで運営を継続することとし、更に代替の候補となる施設の紹介等を行いつつ、その旨御説明してまいりました。

しかしながら、その後、施設を定期的にご利用されていた方々からの御意見や地元高山市からの要請、県議会での議論等も踏まえ、更に半年間運営を延長し、令和8年度末までとする議案を令和8年第1回県議会に提出し、可決いただきました。

### Q 見直しの決定が急で不透明である。撤回すべきではないか

- 県では、令和7年8月から、順次、県議会、地元市村や関係者の方々に御説明し、御意見をお聞きしてきたほか、11月には、利用者の方々を対象とする説明会を開催したところです。
- また、説明会での御指摘も踏まえ、これまでに利用者団体からいただいた「抗議及び要望書」、「公開質問書」等や、これらへの県からの回答書、さらには現在開催している県・関係市村による検討会の資料

・議事概要を県のホームページに掲載し、検討状況等を公開しております。

URL : <https://www.pref.gifu.lg.jp/page/17805.html>

**Q 飛騨センターだけを見直すのか。その他の県有施設の見直しは行わないのか**

- 厳しい財政状況の中、県有施設の運営には、毎年度多額の県費を要するほか、老朽化の進行に伴い、大規模改修を必要とする施設も今後さらに増加する見込みです。  
こうした状況を踏まえれば、県有施設の見直しは避けて通れないものと認識しています。
- このため、県有施設全体の見直しについて、社会環境の変化や県民ニーズの変化を踏まえ、引き続き県が主体となって運営すべき施設なのかどうか、その役割や機能の観点から丁寧に検討していくこととしています。
- 令和7年度末で指定管理期間が終了する施設(図表3)については、指定管理期間の更新や新たな指定管理者の公募に当たり、その業務内容を見直す必要があることから、それらの施設を対象に具体的な見直しの検討を進めてまいりました。
- その中で、飛騨センターについては、他の県有施設に比べてその維持管理費が大きいことから、飛騨地域の賑わい創出や地域課題の解決に資する有効な活用策を検討するという方針の下、見直しを進めているものです。

**【図表3】 令和7年度末で指定管理期間が終了する施設**

施設名	指定管理期間	R6 指定管理料 (単位：千円)
岐阜県東海自然歩道関ヶ原ビジターセンター	R3.4.1～R8.3.31	6,641
岐阜県福祉・農業会館	R3.4.1～R8.3.31	75,379
岐阜県立寿楽苑	R3.4.1～R8.3.31	0 (※1)
岐阜県立飛騨寿楽苑	R3.4.1～R8.3.31	0 (※1)
岐阜県立陽光園	R3.4.1～R8.3.31	0 (※1)
岐阜県立三光園	R3.4.1～R8.3.31	0 (※1)
岐阜県立サニーヒルズみずなみ	R3.4.1～R8.3.31	0 (※1)
岐阜県立幸報苑	R3.4.1～R8.3.31	0 (※1)
岐阜県立ひまわりの丘	R5.4.1～R8.3.31	168,960 (※2)

岐阜県立みどり荘	R3. 4. 1～R8. 3. 31	0 (※1)
岐阜県立はなの木苑	R3. 4. 1～R8. 3. 31	0 (※1)
岐阜県福祉友愛プール	R3. 4. 1～R8. 3. 31	105, 740
岐阜県福祉友愛アリーナ	R3. 4. 1～R8. 3. 31	46, 037
岐阜県立白鳩学園	R3. 4. 1～R8. 3. 31	207, 777 (※2)
岐阜県立千草寮	R3. 4. 1～R8. 3. 31	56, 580 (※2)
セラミックパークMINO	R3. 4. 1～R8. 3. 31	36, 659 (※3)
飛騨・世界生活文化センター	R3. 4. 1～R8. 3. 31	253, 018
岐阜県先端科学技術体験センター	R3. 4. 1～R8. 3. 31	160, 964
OKBぎふ清流アリーナ	R3. 4. 1～R8. 3. 31	45, 203
川崎重工ホッケースタジアム	R3. 4. 1～R8. 3. 31	0 (※4)
岐阜県川辺漕艇場	R3. 4. 1～R8. 3. 31	0 (※4)
岐阜県東濃牧場	R3. 4. 1～R8. 3. 31	62, 192
岐阜県飛騨牧場		
岐阜県さぼう遊学館	R3. 4. 1～R8. 3. 31	0 (※4)

(※1) 介護保険料や障害者自立支援給付費等の福祉サービス料により施設運営

(※2) 児童福祉法等に基づく措置費相当額等

(※3) 数値は県負担分を記載。多治見市、瑞浪市、土岐市を含めた全体は 85, 641 千円

(※4) 市町が指定管理者として施設運営

## <近隣の類似施設の状況について>

### Q 近隣には代替施設としてどんなものがあるのか

- 高山市内には、公共ホールとしては高山市民文化会館や、丹生川文化ホール、国府文化ホールがあります。また、コンベンションやイベントも実施可能な施設として飛騨高山ビッグアリーナがあります。
- これら施設が高山市ホームページにて公開されており、施設予約システムから利用申込が可能です。このほか、公立学校の体育館等が一定のルールのもと地域住民に解放されており、文化・スポーツ活動の場として活用されています。詳細は、施設管理者又は県庁（文化創造課）内の相談窓口に御相談ください。

高山市HP：<https://www.city.takayama.lg.jp/kurashi/1000021/1000118/1000831.html>

県相談窓口：<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/17805.html>

### 【主な近隣の類似施設】

名 称	主 な 施 設
高山市民文化会館	大ホール（1,284席）・小ホール（399席） 公民館併設（展示室、大会議室、講堂、音楽室、調理室、各種会議室）
丹生川文化ホール	多目的ホール（500席） 視聴覚室、情報管理室
国府文化ホール	ホール（600席） 公民館併設（会議室）、図書館
飛騨高山ビッグアリーナ	メインアリーナ（4,000人）・サブアリーナ（800人） 武道場、多目的ルーム、会議室 等
（参考） 飛騨・世界生活文化センター	飛騨芸術堂（504席） コンベンションホール（2,000人） 企画展示室、大・中・小会議室、ミニシアター等

### Q 千人以上の大規模イベントができなくなるのではないか

- コンベンションホールにおける1日当たり千人以上のイベントの近年の開催実績は、令和5年度は2件、令和6年度は6件、令和7年度は5件となっています。
- 上記の利用状況を踏まえると、飛騨高山ビッグアリーナなど既存施設の活用や、サテライト会場を組み合わせるといった工夫により代替可能な範囲内であると考えております。

### Q 「飛騨の家具フェスティバル」ができなくなるのではないか

- 令和8年度は引き続き施設を御利用いただけますが、令和9年度以降については、運営見直し結果によってはこれまでどおり使用できないことも想定されることから、過去に開催実績のある飛騨高山ビッグアリーナなど他施設の活用などを予め御検討ください。なお、展示会開催に対する県の補助制度がありますので、活用をご希望される場合はご相談ください。

URL：<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/13196.html>

**Q 青少年教育、地場産業の振興への影響を考慮したのか**

- 飛驒センターは、文化・スポーツを通じた青少年教育や、地場製品の展示など、様々な形で飛驒地域の皆様にご利用いただきましたが、施設利用の実態を踏まえれば、他施設でも代替可能な範囲内であると考えております。
- なお、令和8年1月に設置した地元3市1村との検討会においては、飛驒センターに残すべき機能についても改めて確認しつつ、今後の運営方針について協議を進めています。

**Q 飛驒センターは飛驒地域の広域防災拠点となっているが、他に活用できる施設はないのではないか**

- 飛驒地方には、飛驒センターのほかに3施設（飛驒高山ビッグアリーナ、飛驒エアパーク、下呂総合庁舎）を指定しており、一つの施設が使用できない場合であっても他の施設で対応できる体制を整えています。また、飛驒センターの広域防災拠点としての機能については、運営見直し後においても広域防災拠点として継続して使用できないか検討することとしております。  
なお、広域防災拠点などの災害対応に必要な施設につきましては、必要性などを踏まえ、県内の各地に順次整備し、受援体制の強化に取り組んでまいります。

**<利用者への対応について>**

**Q 飛驒センターが休止となれば、地域の文化が衰退するのではないか**

- 利用者の皆様が文化活動を継続できるよう、県庁（文化創造課）内に相談窓口を設置しております。それぞれの団体の活動状況に応じて個別に適切な施設を御案内いたしますので、御相談ください。  
URL：<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/17805.html>
- また、(公財)岐阜県教育文化財団と連携し、引き続き、地域の文化団体の活動を支援してまいります。

**Q 「地元の文化団体の活動拠点がなくなる」といった声がある。他に適切な活動拠がないのではないか**

- 飛騨センターを定期的に利用されている文化団体は、週1回以上が1団体で各回40名程度、月1回以上が1団体で各回8名程度の方が御利用されています（令和7年度）。
- 県としましては、各団体における利用の実態を踏まえると、近隣の文化施設等で代替できるものと考えております。なお、高山市に団体登録いただくことで、高山市内市有施設の使用料が半額減免される制度がございます。
- また、県では、それぞれの団体の活動状況に応じて個別に適切な施設を御案内できるよう、県庁（文化創造課）内に相談窓口を設置しております。代替施設の検討に当たり騒音等の御懸念がある場合などには、民間施設等を含めて御提案いたしますので、御相談ください。

URL：<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/17805.html>

**Q 現利用者が、他施設に移行するための支援策を講じるべきではないか**

- 施設の移行にあたって、他施設を優先的に御利用いただくことはできませんが、近隣の施設において、通常2ヶ月前から利用申込が可能であり、大規模イベント等の場合には1年以上前からでも予約の御相談が可能となっておりますので、他の利用者の方々と同様に、各施設にお申し込みください。

また、高山市に団体登録することで、高山市内市有施設の使用料が半額減免される制度がございます。

URL：<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/17805.html>

#### <施設の運営に要する経費について>

**Q 飛騨センターの運営に要する経費は**

- 飛騨センターの運営管理のための指定管理料は、年間約2億5千万円です（令和7年度）。
- また、施設の機能を維持するために要する経費として、今後10年間で20億円超の維持修繕費が見込まれています。

## <サウンディング型市場調査について>

### Q サウンディング調査を中止してほしい

- 県では、飛騨センターの運営見直しにあたり、広く民間から活用提案を求めることを含めて有効な活用策の検討を行う方針である旨、令和7年8月以降、地元市村や関係者に御説明しつつ、先ずは地元主導による活用の途を探ってきたところです。しかしながら、有効な活用策を見出すことができなかつたことから、令和7年11月から広く民間から活用のアイデアを募るサウンディング調査を実施しております。

募集にあたっては、飛騨地域の賑わい創出又は地域課題の解決に資する提案であることを要件としており、施設の更なる有効活用を目指しています。

URL：<https://www.pref.gifu.lg.jp/site/pressrelease/471325.html>

- また、サウンディング調査はあくまでアイデアを募るものであり、応募をもって直ちに事業者を決定するものではなく、事業者選定は別途手続きを行う必要があります。
- なお、サウンディング調査の実施について、議会の議決や承認は要件とされておりませんが、県議会関係者に随時御説明するとともに、令和7年12月の県議会常任委員会において報告しております。

### Q サウンディング調査の提案募集期間を延長したのはなぜか

- 事業者の方から「検討するには募集期間が短すぎる」といった御意見が複数あったことや、地元高山市からの要請、県議会での議論等を踏まえ、サウンディング調査でのより良い提案を期待し、募集期間を半年間延長することとしました。

### Q サウンディング調査の提案内容に利用者から意見を言うことはできるのか

- サウンディング調査の提案内容については、利用者を含めた地元の代表である高山市をはじめ地元市村に共有し、御意見を伺ってまいります。
- 利用者の方々への御説明については、「PPP事業における官民対話・事業者選定プロセスに関する運用ガイド」(平成28年10月)に沿って適切に行うこととしており、実施の時期・内容について地元市村と協議の上、適時適切に対応してまいります。

## <今後の飛驒センターの運営方針について>

### Q 令和8年度の運営方針は

- 利用者の御意見、地元高山市からの要請や県議会での議論等を踏まえ、当面令和8年度末まで運営を継続することとしました。  
令和8年度においては、飛驒センター内の各施設について、これまでどおりご利用いただけます。

### Q 令和9年度以降の運営方針は

- 飛驒センターの令和9年度以降の運営については、サウンディングの状況や県の財政的見地、地元自治体や関係者の御意向、代替施設の確保状況などを踏まえつつ、そのあり方を検討することとしています。
- このため、令和8年1月に地元3市1村との検討会を設け、飛驒センターに残すべき機能、地元主導による行政利用の可能性を改めて確認するとともに、代替施設の確保に向けた対応等について協議を進めています。なお、協議の経過については、逐次、県ホームページで公開しているところです。

URL : <https://www.pref.gifu.lg.jp/page/17805.html>